

＜ 双曲線ゼータとその派生式 その6 ＞

---- 美しい式 ----

ある美しい式が出たので、今回はそれを示したい。次のものである。

なお、双曲線関数 \sinh, \cosh, \tanh はそれぞれ sh, ch, th と略記した。よって例えば、 $sh2a$ は $\sinh(2a)$ のことである。

$$\frac{1}{sh^2a} + \frac{1}{sh^23a} + \frac{1}{sh^25a} + \frac{1}{sh^27a} + \dots = \frac{2}{sh2a} + \frac{4}{sh4a} + \frac{6}{sh6a} + \frac{8}{sh8a} + \dots \quad \text{----[1]}$$

$(a > 0)$

これであるが、凄い式である。得たときは感動した。これは美しいというより神秘的な式である。

ゼータを感じさせるし、イマジネーションが絶えず喚起され、式の裏側に巨大なものがあることが連想される。いくら眺めていても飽きない。

Excel での数値検証も行い、正しいことを確認した。両辺とも収束が速いので確認は容易である。

前回得た式（下記の[2]）と一緒に並べよう。

$$\frac{1}{sh^2a} + \frac{1}{sh^23a} + \frac{1}{sh^25a} + \frac{1}{sh^27a} + \dots = \frac{2}{sh2a} + \frac{4}{sh4a} + \frac{6}{sh6a} + \frac{8}{sh8a} + \dots \quad \text{----[1]}$$

$$\frac{1}{sh^2a} - \frac{3}{sh^23a} + \frac{5}{sh^25a} - \frac{7}{sh^27a} + \dots = \frac{2sh2a}{ch^22a} + \frac{4sh4a}{ch^24a} + \frac{6sh6a}{ch^26a} + \frac{8sh8a}{ch^28a} + \dots \quad \text{----[2]}$$

$(a > 0)$

[2]も素晴らしいものだが、両式を比較すると、やはりシンプルさにおいて[1]の方が上である。

[1]の導出方法の概要を示しておく。

=====

＜[1]の導出方法＞

$$\frac{\sin x}{e^a - 1} + \frac{\sin 2x}{e^{2a} - 1} + \frac{\sin 3x}{e^{3a} - 1} + \frac{\sin 4x}{e^{4a} - 1} + \dots$$

$$= \left(\frac{\sin x}{2}\right) \left\{ \frac{1}{cha - \cos x} + \frac{1}{ch2a - \cos x} + \frac{1}{ch3a - \cos x} + \frac{1}{ch4a - \cos x} + \dots \right\} \quad \text{----①}$$

$(-\pi \leq x \leq \pi, \quad a > 0)$

$$\frac{\cos x}{e^a - 1} + \frac{2\cos 2x}{e^{2a} - 1} + \frac{3\cos 3x}{e^{3a} - 1} + \frac{4\cos 4x}{e^{4a} - 1} + \dots$$

$$= \left(\frac{1}{2}\right) \left\{ \frac{cha \cdot \cos x - 1}{(cha - \cos x)^2} + \frac{ch2a \cdot \cos x - 1}{(ch2a - \cos x)^2} + \frac{ch3a \cdot \cos x - 1}{(ch3a - \cos x)^2} + \frac{ch4a \cdot \cos x - 1}{(ch4a - \cos x)^2} + \dots \right\} \quad \text{----②}$$

$(-\pi \leq x \leq \pi, \quad a > 0)$

$$\frac{1 - \cos x}{e^a - 1} + \frac{(1/2)(1 - \cos 2x)}{e^{2a} - 1} + \frac{(1/3)(1 - \cos 3x)}{e^{3a} - 1} + \frac{(1/4)(1 - \cos 4x)}{e^{4a} - 1} + \dots$$

$$= \left(\frac{1}{2}\right) \left\{ \log \left| \frac{\text{cha} - \cos x}{\text{cha} - 1} \right| + \log \left| \frac{\text{ch}2a - \cos x}{\text{ch}2a - 1} \right| + \log \left| \frac{\text{ch}3a - \cos x}{\text{ch}3a - 1} \right| + \log \left| \frac{\text{ch}4a - \cos x}{\text{ch}4a - 1} \right| + \dots \right\} \quad \text{----③}$$

($-\pi \leq x \leq \pi, \quad a > 0$)

1年前 ([その212](#)) でカンで予想し、([その213](#)) で厳密に導いた三式を提示したが、上記の①~③がそれに当たる。

さて、③を a について微分して整理すると、次式を得る。

$$\frac{1 - \cos x}{\text{sh}^2 a} + \frac{1 - \cos 2x}{\text{sh}^2 2a} + \frac{1 - \cos 3x}{\text{sh}^2 3a} + \frac{1 - \cos 4x}{\text{sh}^2 4a} + \dots$$

$$= 2(1 - \cos x) \left\{ \frac{1}{(\text{ch}2a - \cos x)\text{tha}} + \frac{2}{(\text{ch}4a - \cos x)\text{th}2a} + \frac{3}{(\text{ch}6a - \cos x)\text{th}3a} + \frac{4}{(\text{ch}8a - \cos x)\text{th}4a} + \dots \right\} \quad \text{----④}$$

この④の x に π を代入して変形していくと、[1]に到達する。

終わり。

=====

このようにして導出した。①~③からはラマヌジャン式と双曲線ゼータとが両方混じった式が出てくるのみである。それも興味深いことには変わりなく、1年前に ([その212](#)) でそのような興味ある式を出したが感激というほどでもなかった。

しかし、今回その隣にある別の世界に移行したら、奇跡的な式が飛び出したという流れになる。

三式 (①~③) の世界より、それらを a で微分した式 (領域) の方がより深い世界のような気がする。

[1], [2] を再掲。

$$\frac{1}{\text{sh}^2 a} + \frac{1}{\text{sh}^2 3a} + \frac{1}{\text{sh}^2 5a} + \frac{1}{\text{sh}^2 7a} + \dots = \frac{2}{\text{sh}2a} + \frac{4}{\text{sh}4a} + \frac{6}{\text{sh}6a} + \frac{8}{\text{sh}8a} + \dots \quad \text{----[1]}$$

$$\frac{1}{\text{sh}^2 a} - \frac{3}{\text{sh}^2 3a} + \frac{5}{\text{sh}^2 5a} - \frac{7}{\text{sh}^2 7a} + \dots = \frac{2\text{sh}2a}{\text{ch}^2 2a} + \frac{4\text{sh}4a}{\text{ch}^2 4a} + \frac{6\text{sh}6a}{\text{ch}^2 6a} + \frac{8\text{sh}8a}{\text{ch}^2 8a} + \dots \quad \text{----[2]}$$

($a > 0$)

③を a で微分した式から [1] が出た。①を a で微分した式から [2] が出た。

では、②を a で微分した式からは何が出るだろうか？

それは、下記のつづやきで示す。

最後に、テーマの整理と備忘録の意味から、構想や予想、妄想、つぶやきを述べておく。

=====

● ②を a で微分した式からは、次の二式が出た。

$$\frac{1^2}{\text{sh}^2 a} + \frac{2^2}{\text{sh}^2 2a} + \frac{3^2}{\text{sh}^2 3a} + \frac{4^2}{\text{sh}^2 4a} + \dots = \frac{\text{cha}}{\text{sh}^3 a} + \frac{2\text{ch}2a}{\text{sh}^3 2a} + \frac{3\text{ch}3a}{\text{sh}^3 3a} + \frac{4\text{ch}4a}{\text{sh}^3 4a} + \dots \quad \text{----}[3]$$

$$\frac{1^2}{\text{sh}^2 a} - \frac{2^2}{\text{sh}^2 2a} + \frac{3^2}{\text{sh}^2 3a} - \frac{4^2}{\text{sh}^2 4a} + \dots = \frac{\text{sha}}{\text{ch}^3 a} + \frac{2\text{sh}2a}{\text{ch}^3 2a} + \frac{3\text{sh}3a}{\text{ch}^3 3a} + \frac{4\text{sh}4a}{\text{ch}^3 4a} + \dots \quad \text{----}[4]$$

(a > 0)

これも素晴らしい。

ペアで眺めると、ふしぎな対称性が出ており、隠れている地下構造の秩序を連想させる。

=====

2023. 1. 14 杉岡幹生

<参考文献>

・「マグローヒル 数学公式・数表ハンドブック」(Murray R. Spiegel 著、氏家勝巳訳、オーム社)